

第123回 光応用・視覚技術委員会議事録案

平成21年1月22日

光応用・視覚技術委員会

委員長 亀井宏行

I 日時：平成21年10月9日（金）15：00～18：00

II 場所：日本交通協会第1会議室

III 出席者：亀井委員長、高橋、堀中、堀内、各委員、君島、木下各幹事

IV 配布資料

No.123-01 第122回光応用・視覚技術委員会議事録（案）

No.123-02 第80回基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会議事録

No.123-03 第5回リソグラフィ極限技術調査専門委員会議事録

No.123-04 第4回赤外線・テラヘルツ波将来技術調査専門委員会議事録

No.123-05 光応用・視覚委員会平成20、21年度活動計画表

No.123-06 光応用・視覚技術委員会名簿

V 議事

1. 前回議事録確認

2. A部門研究調査運営委員会報告

亀井委員長から配布資料 No.123-02 に基づき、第80回 A部門研究調査運営委員会の報告がされた。

1) 電子情報通信学会との研究会開催における論文の著作権について

電気学会は電子情報通信学会他と研究会を合同（共催）し、研究会資料の発行、販売、さらに電子図書館も運営しているが、著作権の取り扱いが曖昧であったので、電子情報通信学会と協議されている覚書（案）が報告された。

①平成21年度は研究会を従来どおり合同（共催）で開催するが、22年度からは併催（同一会場、資料は別内容）または連催（同一テーマで募集、相手学会論文を含めてまとめ合う）で開催する。

②合同開催の研究論文の著作権は受理した論文を個別に保有する。

③連催による研究会の論文は互いに研究会資料に掲載を無償で許諾できる。ただし二次利用は別途許諾を要する。

2) 文部科学省共同利用・共同研究拠点認定に関する支援許諾について

平成20年度第4回研究経営会議で支援許諾の取り扱いが決定した旨報告された。

①現認されている国立大学附属研究所及び全国共同利用研究施設（所在）に対しては機械的に支援を承認する。

②新規の所在については評価シートの設定事項により研究経営会議が審議する。

③今年度、長岡技術科学大学極限エネルギー密度工学研究センターと東北大学電気通信研究所に対して支援を辞退したことと、今後の支援要請に対する評価を審議し、理事会へ上

申する。

3) 公開シンポジウムについて

A 部門からは、公開シンポジウムを 2003 年 3 月下旬に東京電力 電気の史料館で小中高校生を対象に 300-400 人規模で開催、テーマ案は「電気の歴史と未来」、「暮らしの中の電気」、「電気の作り方」、「エネルギーとしての電気」など、とする案を研究経営会議へ提出する旨報告された。

4) 電気学会技術報告原稿執筆時の著作物引用許諾手続きについて

電気学会に著作権がある自分の著作物なら出願免除、他人の物、他機関に著作権がある自他の著作物は Web ページの書式で出願（~~電気学会へは~~他機関へは執筆者各自でなく調査専門委員会がまとめて）することになった旨報告された。

3. 技術報告書の提出について

亀井委員長よりメディアデバイス・視覚システム調査専門委員会（山羽委員）は未だ提出されていないので手紙で依頼する旨、新しい光源とモデリング・計測調査専門委員会（神野委員）は 8 割が完成で 10 月提出予定である旨報告された。

4. 調査専門委員会の活動報告

- 1) 堀内委員より配布資料 No.123-03 に基づき、第 5 回リソグラフィ極限技術調査専門委員会の議事と講演（4 件）の内容が報告された。
- 2) 堀中委員より配布資料 No.123-04 に基づき、第 4 回赤外線・テラヘルツ波将来技術調査専門委員会議の議事と講演（1 件）の内容が報告された。

5. 平成 21 年度の活動計画

配布資料 No.123-05 に基づき実績・予定が各委員会から報告された。

6. 合同研究会について

高橋委員より 2 月 2 日に北大で開催される計測技術委員会との合同研究会の日程が報告された。11 月 17 日投稿（申込み）締切、12 月 4 日原稿執筆依頼、1 月 12 日原稿締切。

7. 編修委員会より報告（高橋委員）

- 1) 9 月 10 日静大で開催された A 部門大会の光応用セッションは論文発表 6 件、参加者は 10 名（内座長 2 名）であった。
- 2) 著作権について????????
- 3) 論文誌への投稿を増やすために技術委員持ち回りで特集論文を出すことが提案された。
11 月号には綱脇委員が担当し、23 年度前半には神藤委員に依頼する予定。解説論文を亀井委員長に依頼する。

8. 委員の交替

- 1) 山本雅裕氏（東芝）の 1 号委員就任が承認された。
- 2) さらに 1 号委員を補充するため以下の協議がされた。
①生体関係の新委員に佐藤俊一氏（防衛医大）（難しい）②矢口委員に依頼する ③調査

専門委員会から各1名（関東在住）④個別に依頼する。

9. 次回委員会について

日時：平成22年1月22日（金）15：00～17：00

場所：日本交通協会第1会議室

記録 木下